

英語を楽しく

No.371

☆英語の文法も時代と共に変わる。

中学校2年生の英語では「比較」を勉強します、

The tree is taller than the house. My bag is as big as yours.

Tom runs faster than Koji.

のような例文は出てきますが、

I am taller than he. 「私は彼より背が高い。」の
のような例文が出た時は、

I am taller than him(him).

のように指導します。

以前、中学校で、「[than]の後ろには主格」と教えられたものです。現在、中学校では、

[than]の後は目的格でも主格でもよいことになっています。



なぜ?でしょう。

それは、

「I am taller than he. と than の後に主格の[he]で終わるのは奇妙な気がする。」

という意見があるからです。確かに英語では、主語、動詞、目的語の順に単語が並ぶので、主語を言うだけで、後の何も単語がないのは奇妙と言えばそうは言えます。なお、現在、英会話では、

I am taller than him. のように目的格が使われることが普通です。

中2の英語教科書で、than の後ろに「代名詞(I, you, he, she など)」を使わないのは、生徒に主格か目的格か混乱させないためかもしれません。

The tree is taller than the house. My bag is as big as yours.

Tom runs faster than Koji. のように、

house も yours も「物」、 Koji は名前

それぞれ ① The house is tall. ② My father built the house

① Yours is old. ② This is yours.

① Koji is a good student. ② This is Koji.

のように主格にも目的格にも than の後ろの単語は使えます。これなら主格か目的格か混乱するはずがありません。